

米の問題がトツプ

町行政に対し深い関心

町では、町民がどんな考えや希望、不満などをもっているかを握るとともに、広報紙にも町民の声を取り入れようと、六月一日から四日間、町内十三部落を対象にク町行政に対するインタビューを実施した。

この四日間が一番問題となったのは、なんといつても米生産調整にからんだ問題で――転作についての一貫した指導性。協力した人とならない人の格差をどこでつけるか――などが多かった。また、大規模工業開発構想についてのべる人も多く、農家の余剰能力を吸収し、町民の所得向上のため、住みよい町づくりを望む声が多く、道路行政については、大きな問題はなく現在の道路整備、舗装事業が進んでいることがうかがわれる。

その他、消防、ゴミ、各種検診等の問題もであり、町政に対する町民の関心の深さが増していることがうかがわれた。要望、質問に対しては各課からの回答を求め掲載した。

町内13人に要望を聞く

モーターの徹底した管理を

出戸新町 菊地栄治郎



農業問題は、なるとも生産調整が第一の問題であるが、町では、こ

とし四十二、四十三、四十四年の買い上げ数量を三で除して各部落に割り当てたが、出戸新町では、四十二年にまだ田んぼになつていない人もいたので、昨年どおり反別で割り当ててはし

安定した転作作目を

下出戸 佐々木 肇



米価はことしはかながら下がったが、過去三年は、減反していかないけれども、協力しながら野菜などの転作を考えていかなければならぬ。健康がいたが、廃止になったので、役場の方で月に一回ぐらい血圧測定などをしてほしい。

現在のモーターは、旅館のような形態であり、風紀、防犯、環境衛生等の面からも子どもに悪影響をおよぼさないよう、じゅうぶん注意してほしい。

町職員の態度はよいが、役場の構造がうまくないような気がするので、中央部にカウンターを設けたら簡単に済ませられると思う。

町広報紙は、現在のままでよいと思うが、できることなら増ページして内容の濃いものを取り入れてほしい。

転作作目の一貫した指導性を

二田 伊藤 秀雄



農業問題は、現在、転作で何を作っても付けないが、計画性がなく、思いつきのような気がするので、町でも一貫した指導をしてほしい。

この一票悔いなく6年まかす人
参議院議員通常選挙

6月27日

棄権をしないでみんなで投票しましょう

大規模工業が秋田湾地区に進出して来るようだが、その事自体は町の発展にもつながるので賛成だ。しかし土地利用の問題地元の労力をどれぐらい吸収できるかーなど、いろいろな問題があると思うので、綿密な計画のもとで進めてほしい。

道路行政では、舗装、整備関係は問題ないが、道路がよくなることによって事故も増えてくるので、カーブミラー等安全施設が破損した場合、早急に直すようにしてほしい。

幼稚園と保育所の幼児を年齢別にして、五歳以上は幼稚園、以下は保育所というように、すっきりした形で募集できないものか。また青年に対して、農機具などの簡単な整備ができるような講習会を冬期間でも実施してほしい。

試験田をつくって指導を

江川伊藤 馨



本町の基幹産業である農業は、現在、重大な

所に立たされていると思う。農民もどう自身で解決の糸口を見い出さなければならぬが、町でも試験田のようなものをつくって、何が適しているかを農家に指導してほしい。

大規模工業開発は、若者に郷土を開発させようとする運動を實施し、今から誘致工場とあわせて、技術を身につけさせるようなことを考えてほしい。

●各種集団検診は、それぞれ医療機関に委託してしまいがちで、限られた日程で全県の市町村を實施するの、本町だけが農閑期を利用して実施することはなかなか困難な現状です。
お忙しいでしょうが、みなさんの健康と住民皆検診のためにも受診するようにしてください。

●道路わき、松林等にゴミを投棄する者がいるので、町の環境が汚され困っています。ゴミの不法投棄と環境の美化保全のため、春秋二回、部落、関係機関、各団体等の組織を通して「全町一斉清掃」を実施したいと思っております。よろしくご協力ください。お願ひします。なお、鶏舎、豚舎等の悪臭については各組合とも連絡のうえ、適切な指導をいたします。

道路は、町でも積極的に行なっているで大変よいと思うが各部内での道路は完全整備されていないので、道路ビジョンをつくり各部落ごとに解決していくような計画がほしい。秋田、男鹿線の県道で、江川地区の場合、幅が狭いので、側溝にもなるので、できることなら取り付けてほしい。また、児童館の利用率も非常に多くなっているの

で、児童館前に横断歩道を設けてほしい。
老人福祉のことですが、老人に趣味をもたせるように趣味の会や老人と孫の会などを行なえば家庭円満にもつながると思うので、ぜひ実行してほしい。
農家は、生産調整などの問題もあり、このままでは農家経済はさらに苦しくなるので、国保税率を検討してほしい。

町職員は、態度はよいと思うが防犯などの面で、業者に協力を要請します。

●モーターについては、風紀防犯などの面で、業者に協力を要請します。

●徳土谷地保育所での予防接種を中止しているのは、対象者が少なくなつたためです。対象者が多くなれば湖岸地区でも実施しますので、ご理解いただきたいと思ひます。
●血圧測定は、成人病対策として各地域で実施していただきますので、計画がありましたらご連絡ください。

町民課

●国民健康保険
国保税率を検討してほしいとのことですが、国民健康保険制度については、町長が新年のあいさつ(広報一月一日発行)で申し上げているとおり、国保に

おして単位クラブの活動を推進していきたく思ひますので、積極的に出席くださるようお願いいたします。
●老人クラブの補助金については、県の補助金は年間一単位クラブ六千円の助成となっておりますが、本町では、会員五十人以上のクラブには一万五千円を

案内係を設けたら、もっと気軽に入れるのではないかと。

減反の非協力者との格差はつけないか

中羽立 菅生喜太郎



生産調整に協力し、他人に協力し、何もしない人との格差がなければ、協力しても来年は協力しない人が多くなるのではないかと。

転作でも、現在何を作付けたらよいかわからないので、ふみきれないでいる。ことし初めて実施した共同炊事は大好評であったので、これも含めて大加入している人の医療共済制度であることをご理解いただきたいと思ひます。

●現在、各単位クラブでは、集会や福祉奉仕、健康診査等を実施していますが、公民館でもみんなで楽しく学べることばき字級々を実施しています。今後、連合会、ことばき字級をと

型機械、防除機などを導入し、協同化を進めていきたい。

中羽立部落では、月二回分館に老人たちが集まって話し合いの場を設けているが、茶菓子などみんなで持ち寄って行なっているの、町からの補助をもう少し増額してほしい。また、国民年金のPR活動をもっと徹底するなりして被保険者に知らせてほしい。

町職員の態度は、全般的にみればよいと思うが、若い職員には話にくいという老人もいる。広報紙は、現在のままでよいと思うが、できることなら他部落での活動状況など、よい点があったら掲載してほしい。

●国民年金
●国民年金のPRは、毎年十一月～二月までの間に各地区で、座談会(説明会)を開催しており、パンフレットも年一回各世帯に配布しています。
不明の点がありましたら、各地区の国民年金委員または、役場年金係へお問い合わせください。

●国民年金保険料の納付は、期別毎の三カ月分納付が原則となっておりますので、集金に当たっては納付者にご協力を求めるようお願いいたします。また、毎月集金でないという人もいますので、これらの人についても、できるだけ毎月集金をして、未納の生じないようにし、保管は金融機関に一時預かり入れする方法をとるようお願いいたします。

ゴミは清掃車に

天王 柏崎金右エ門



農業問題では、生産調整に付き

現在では、減反せざるを得ない状態だから、やむを得なく協力しているが、協力した人となし人との差が何らかの形で出てくると思う。転作については、町で二～三カ所ぐらい試験的に作付けてみて、その後、農家に對して指導する方法もあると思うので実行してほしい。

大規模工業開発は、農家も都市なみの所得にするためには、賛成だ。お互いに交換分合を行ない、農家は協業化し、工業は工業地として、すばらしい町づくりになり進んでほしい。

道路は、県道秋田～男鹿線の

食管制度を守る運動を

渋谷 米谷 克雄



農業問題では、この米価が三

●二 %がが諸物価との割合いからみれば、まだまだ差がある。過去の失敗は失敗として現実を見つめてほしい。現在では、不満ながらも協力しなければならぬと思ひている。転作については、町で何を作付けたらよいか積極的な指導性がほしい。いまは農業がひとりだちできるような基礎をつくるのが先決だ

と思うが、そのためにも食管制度を守る運動を強化拡大する必要があると思う。
大規模工業開発の問題は、町でも工業の導入開発は必要と思う。農業を大型化し、工業を受け入れる条件を整えてから工場を誘致してもらいたい。当面中小企業を誘致して農村婦人の余剰能力を吸収するよう考えてほしい。

交通量が激しいので、天王、船越間の橋の歩道が途中で切れているので、通すことができない。また、路上で作業をしている人がいるので、慎重にとりしめる方法はないか。

衛生関係では、町で各種検診を積極的に実施しているが、できることなら日程を農閑期にするようにしてほしい。また、ゴミの問題ですが、春、秋には八郎瀧周辺へ捨てている人が見られるので、清掃車に収集してもらおうようPRをしてほしい。鶏舎、豚舎等の悪臭が夏期になると特に激しくなるので、薬剤散布をするよう指導強化を図ってほしい。

●消火の関係ですが、天王本郷は家が密集しており、貯水そうも小規模なので、もっと大きい貯水そうをつくってほしい。

●広報紙はよく編集されていると思うが、各年度の予算内容をもう少し具体的に掲載してほしい。

●町では、町政懇談会を実施しているが、一部一回は、毎年実施してほしい。

役場庁舎に カウンター システムを

土出戸 京谷銀治郎



現在
の道路
行政は
積極的
に行な
ってき
てい

るのでよいと思うが、上出戸から三軒屋までの道路は農道としても重要な役割を果たしているの、できることなら舗装してほしい。

最近、モーターの建設が特に目につくが、その周辺の畑に排出物が投げ捨てられており、児童生徒が畑に遊びにいった時など、環境が非常に悪いので、その対策をこうじてほしい。

税務関係では、税務一般の簡単な内容をみんなに知ってもらうため、農閑期を利用して各部落で説明会のようなものを開いてほしい。

整然とした 町づくりを

追分 中田兼太郎



問題
は農業
町全体
からみ
ると、
田んぼ
が雑然
として
いるよ
うな

宅地は宅地、農業地区は農業地区としてまとめる必要があると思う。これは町としての都市計

た、役場の事務室を各係が全部窓口となるよう、カウンターを設けたら住民がもっと入りやすくなるし、用事も簡単に済ませられると思う。

大規模構想は 積極的に

児玉 鈴木金之助



農業
問題
は現在
転作に
ついて
の指
導が足
りない
と思う

あらゆる条件等を考えて安定した作目を指導してほしい。

大規模工業開発は、町の発展のために賛成だ。農家は出かせぎにたよらなければならぬ。現状なので、工場誘致にしても、新産都市のようにか声だけでは終わらず、積極的に新しい町づくりを、児玉部落は消防車道路では、

も入れない状態なので、拡幅するとともに、時々補修してほしい。

清潔な 町づくりを

塩口 石川喜代志



現在
生産調
整がク
ロージ
アップ
されて
いるが

これに対し政府のビジョンがほしいし、町自体の態度がはつきりしないと農家が不安な状態に落ちている。転作では、町として試験田をつくって水田に適した作物を作付けし、農家に指導するような方法を考えてほしい。

大規模工業開発では、出かせぎをして一日も早く誘致し、みんなに喜ばれるような工業開発してほしい。

ことし町では、町政二十周年にちなんで、水銀灯を設置する住宅地として整然とした町づくりを行なっていく。また、長沼をいこいの場に造成してほしい。

道路問題では、追分三叉路付近が朝七時二十分から八時三十分まで、夕方の四時から六時頃まではすごい交通量なので、地域の人からも協力してもらって交通指導隊のようなものを配置してほしい。また、五洋電子前の道路は夜の通行者が多いので、犯罪防止のためにも街灯を設備

発を望む。これに伴い、清潔な町づくりのためにも部落内の道路を区画整理し、下水道の完備した町をつくらなければならない。

税 務 課

予防接福の場所が、今まで穂丈谷地保育所で行なっていたが現在は役場までいかなければ受けられないので、今までもどおりの保育所で実施できないのか。国民年金の掛金を婦人会で、毎月集金しているが、三カ月にすると額が多くなり、保管に容易でないので二カ月に一回ぐら

税務の内容については、積極的にPRにつとめています。積極的には、農閑期に公民館等で納税相談を実施してきましたが出席者が少なく、四十五年からはパンフレットによる広報に切りかえました。

四十五年は、町民税申告の解説を主にした「町税のしくみ」を配布しています。四十六年は納付組織と徴収制度の解説として「納税のしくみ」を配布する予定です。その他、必要に応じて適時広報し、周知方をはかりたいと思っています。

不明の点がありましたら、役場税務課へお問い合わせください。

みんなで本を読もう
土曜の午後、日曜、祭日を除いて毎日貸し出しています。「30分間読書運動」に、みんなで参加しましょう。
町公民館

転作の 指導について

臨時的に転作する場合は、最も有利なものとして、葉たばこキャベツ、さといもなどがあるが、これでも排水などの土地条件がよほどよいところでないとうずかしい。できれば団地ごとに話し合って、水稲と虫くい状態にならないようにすることを強く指導していきたい。

また、恒久的な転換としては和なし、ぶどうなどが考えられるが、この場合も、話し合いにより集団化し、排水農道などを整備のうえに実施するものでなければなりません。転作の展示場の設置についても、昨年から水田での葉たばこの試験栽培に補助金を出してやっていますが、結果は、やはり排水が問題になり、団地ごとの集団化が望ましく、その他の作目展示場の設置についても、明年度からじゅうぶん検討していきたい。

結論としては、農家が町に望んでいるように、町も国県に対して適作目を示してほしいと要望しているのと同じで、要は転作には栽培技術ばかりでなく、価格安定等、流通対策、集団化土地改良などの問題があり、価格強化については、国県の制度の強化を米なみに、集団化、土地改良等は地域農家の総意に期待し、これについては、町は農協などと一体となって取り組み、生産調整に協力した農家が転作作目を安心して生産できるように体制を積極的に努力していきたいと思っています。

大崎野沢溜池地区が団地総ぐ

経 済 課

るみで、なし、ぶどうに転換、「土地改良事業団の補助二分の一と恒久転換奨励金一反歩につき一万円(五年間)」する計画が着々とすすんでいます。これは町のモデルケースとして強力に援助して、ぜひ成功させたいと考えています。また、このような集団でするケースが、各所にあるだけ多くてくることを期待しています。

生産調整に協力した農家と非協力農家の格差について

米が必要以上に生産されて、多量に余っていることは、農家個々が判断のうえに生産調整という減産に、全員が協力して解消しなければならぬと思う。しかし、一部農家においては割り当てを減反しない農家があるため、農業者間においても感情関係がでていることは、ご指摘のとおりです。

政府では、格差をどういう方法でつづけるか、まだ具体的には決めていませんが、はみ出し米がでた場合や政府買い入れ価格等で、格差をつけることが考えられているようです。

また、天王町の農業生産対策協議会でも、町の達成率が悪く不利な立場にならないよう、生産調整の実効をあげるため、明年度以降のことも考えて「正直者に馬鹿を見せない」よう、できるだけ格差をつけるべきだと決めています。したがって、本町としては、国の要綱その他法令の規制を受けない範囲内において協力農家と非協力農家に格差をつけて、天王町全農家がかなる場合においても不利な立場にならないようにしたいと考えています。

農休日の設定を望む

羽立 目黒 久治



減反の割り当てを昨年どおり、希望を

残ったものを各部落に割り当ててほしい。また、正直に減反した人と全部植え付けた人の格差をどこでつけるか。差がないとすれば来年からは協力する人が少なくなるような気がする。転作は、現状では無理と思うので、集団で減反し、そして転作すればいろいろな面で可能性が強くなると思う。また、最

転作の一環として

観光果樹園

大崎 三浦 兼



生産調整で協力した人として、この格

差をつけてほしい。大崎部落では、転作の一環として、約三十五町歩の観光果樹園をつくる計画をもっている。これは、大小排水を完備し、約二千五百万円で完全転作できるので、町、農業団体等の協力を得て、ぜひ実現したい。

大規模工業開発構想は、町民の所得向上にもつながることなので賛成だ。しかし、住民の福祉を無視されては困るので、環境をおびやかさないような工場を誘致してほしい。

近農村婦人たちの過労が激しいようなので、月に二〜三回の農休日を設けるよう進めてほしい。

道路関係は非常によい、と思う。ただ、部落内の道路ですすが、町でも時々、砂利を敷いたり補修してくれているが、補修することに道路が宅地より高くなっている。雨が降れば宅地へ雨が入り込むので、できれば舗装して側溝をつけてほしい。

現在、出かせぎする人は、安定所へ行って職業のあっせんを受けているが、安定所の職員を日程を決めて役場へ派遣してもらえれば大変便利なのでお願いできないものか。

町職員の態度は比較的よいがなかには窮屈がる人も見うけられる。広報紙は住民の声を取り入れてほしい。

総合し、恵まれた環境のもとで幼児を保育してほしい。

町職員の態度は五年ぐらい前から比較すると親しみやすくなっている。広報紙では、もう少し町民の声がほしい。

企画室

●広報紙は、現在四P〜六Pで編集されていますが、ことは三カ月に一回の割り合いで特別号を発行することになっていきます。

●以前から広報紙に住民の声を反映させたいと思っていました。PR不足のせいか住民からの投稿が少なく、今後は、各分館などを通して、住民の声をじゅうぶん反映させたいと思っています。

●秋田湾地区大規模工業開発については、すでにご承知のことと存じますが、今後、本町を中心に海面を埋め立て、工業用地、港湾用地を造成し、これと並行して大規模工業港の建設が行なわれます。

●工業用地には、基幹工業を配置することになっていますが、このような工業化の進行につれて増大する関連工業は、内陸工

業の開発条件にあわせて、内陸工業団地が形成されます。一方、住宅用地の需要については、既成集落地を中心に都市の中核となり、住宅団地の立地が促進されます。また、優良農地については、農業近代化を図っていきます。

●日本海沿岸の山林地域は、公害に対する臨海工業地帯と市街地区域とのかん衝地帯となります。この構想については、県では、ことしから四十八年までの三カ年間に基礎調査の期間として調査に入っています。

●企業の進出は、昭和五十五年以降と思われませんが「住民あつての福祉」が先決問題であるので、公害等いろいろな問題については、国や県とじゅうぶん協議をして悔のない「農工一体」の豊かな町づくりをしていきたいと思っています。

●都市計画については、四十六年三月三十日付県広報で告示され、市街化区域、市街化調整区域の指定を受けました。市街化区域の用途地域については、現在県と町で指定を検討たいと考えています。

●湖岸部落内の道路整備と排水については、部落、土地改良区と協議し、四十八年頃まで整備したいと思っています。

●秋田、男鹿線の拡張バイパス計画については（県道路課）天王バイパス（江川〜船越）は四十八年まで完了計画であり、追分〜江川間については、拡張改良の構想はあるが、現道路を利用するか、海岸寄りへ新設するか、目下、検討中です。

●八童橋の歩道橋の連結については（県道路課）歩道橋の設計については、残存湖のしゅんせつ船通航の措置として現在のものができたが、船の出入りがなくなるまで連結することは技術的に困難なのでしゅんせつ作業終了まで、がまんしていただきたい。

総務課

●消防団員の出かせぎは、個々の分団により異なっています。出かせぎ団員がいることは事実であり、緊急時においては消防活動に影響をおよぼすことも考えられるので、消防団の組織を改善しながら隣接市町村と協議して、消防力の広域化に着手し、消防力の強化を図りたいと思っています。

●窓口事務の改善については昭和四十一年に事務改善委員会をつくり、住民サービスを優先に現在の職務体系にしました。当初から、住民の入りやすい

●歩道の側溝にクワタガをし歩道とすることについて（県土木事務所）道路の規則によると、歩道は七十五cm以上となっており、現在の側溝は五十cmであるので、その場合用地買収もからんでくるので現地調査のうえ、交通安全対策の一環として措置したい。

●歩道橋の設計については、残存湖のしゅんせつ船通航の措置として現在のものができたが、船の出入りがなくなるまで連結することは技術的に困難なのでしゅんせつ作業終了まで、がまんしていただきたい。

●歩道橋の設計については、残存湖のしゅんせつ船通航の措置として現在のものができたが、船の出入りがなくなるまで連結することは技術的に困難なのでしゅんせつ作業終了まで、がまんしていただきたい。

教育委員会

●プール建設については、学校プールは、体育指導面、児童生徒の保健や事故防止などの面からも、きわめて重要な施設なので、町立各小中学校には全部建設する計画を立てている。

この学校プールの建設は、昭和五十年年度までに全部完成する計画です。

●三カ所で農家健康相談室 町健康生活推進委員会では、農家婦人の健康を阻害する要因を見出し、健康で明るい家庭、住みよい環境をつくるために、ことしで三年目の「農家婦人健康相談室」を開設します。

この相談室は、六月二十二日、農夫を中心とした問診、血圧測定、尿検査、医師検診などを実施する予定です。対象は、主として三十歳から五十五歳までの農家婦人を対象に行ないます。

【日程】
●六月二十二日、二十三日
天王地区（天王本郷分館）
●六月二十四日、七月八日
二田児童館
●下出戸地区（下出戸分館）
※開設時間は、いずれも午前十時から午後三時までです。

建設課

●上出戸〜三軒屋間の舗装に上出戸（県道）と昭和町まで千三百メートルを幅員六メートルに改良し、農道整備事業として

●歩道橋の設計については、残存湖のしゅんせつ船通航の措置として現在のものができたが、船の出入りがなくなるまで連結することは技術的に困難なのでしゅんせつ作業終了まで、がまんしていただきたい。